

トビウオ通信 (H20 第 3 号)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-22-1720)

《平成 20 年度第 1 回日本海海況予報》

当技術センターを含めた北海道から山口県までの水産研究機関と独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所が協議してとりまとめた第 1 回日本海海況予報（4 月 9 日付け）が発表されましたので、その概要を報告します。

2007 年 11 月～2008 年 2 月までの経過

- 11 月に隠岐諸島北東でみられた暖水域は、ほぼ停滞。
- 島根沖の冷水域は、規模および接岸状況とも平年並み。
- 山陰・若狭沖の冷水域は、規模が小さく、離岸傾向にありました。
- 対馬暖流域の表面水温は、11 月は日本海のほぼ全域で「平年並み～やや高め」、12 月および 2 月は日本海北部の一部海域を除き概ね「平年並み～やや高め」となりました。

今後の海況見通し（2008 年 4～6 月）

- (1) 隠岐諸島北東の暖水域は、ほぼ停滞する。
- (2) 島根沖および山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、やや高めで経過する。
- (4) 対馬暖流域の 50m 深水温は、日本海西部および北部ともやや高めで経過する。

現況(2008 年 3 月) 別添模式図参照

- 暖水域は隠岐諸島北東に分布しています。
- 島根沖の冷水域は、規模および接岸状況とも平年並みです。
- 山陰・若狭沖の冷水域は、規模は平年並みでやや接岸しています。
- 対馬暖流域の表面水温は、概ね「平年並み」となっています。
- 対馬暖流域の 50m 深水温は、日本海西部では「やや高め」となっています。

